

第 128 回番組審議会 2025 年 2 月 14 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、小松 陽一郎 副委員長、
北川 チハル 委員、高見 孔二 委員
橋爪 紳也 委員、原 美和 委員、
松山 秀明 委員、中西 悠子 委員、
龍沢 正之 委員、

[当社側出席者]

小林 正太郎 代表取締役社長
三好 康嗣 常務取締役 編成局長
名取 亮介 編成部長
山下 めぐみ 事務局長

議事の概要

- 1) 小林社長より、当社の現況などについて報告。
- 2) 三好常務より、2 月～3 月編成について説明。
- 3) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『登山で頂きメシ！大江山 兄伝説SP』

[2025 年 2 月 2 日(日) 5 時 00 分～6 時 00 分放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・1 時間のスペシャル番組として、少し長いかな大丈夫かなと心配していたが、2 人の出演者が同じ山を別々の異なるルートでそれぞれ登っていき、最終的に頂で合流するという企画が面白く、大江山の魅力を 2 ルートあるということで、その倍味わうことができるような気分であった。
- ・鬼伝説の説明も、それぞれの出演者は詳しくわかりやすく、飽きることのない構成で大江山の魅力がさらに十分に伝わった。
- ・地元の食材や農園などの紹介なども含め、地域の活性化にも寄与している。

こういったことにより、視聴者を広げていくのはとてもいいことである。

- ・出発地の時刻やルートの説明といった情報面でも、とても行き届いていた。
- ・出演者の波岡さん、福土さんの掛け合いもとても楽しく、息もあっており、2人の中の良さが伝わってきた。
- ・登山をする番組はたくさんあるが、この「登山で頂きメシ！」は企画として、とても良い。

気になった点

- ・この現場と離れた場所に居住する視聴者には福知山がどのあたりにあるのかもわからないであろうから、もう少し時間を割いて位置情報を提供した方が良いのではないか。
- ・雰囲気の良い静かで景色のいい所を登って行っているのに、出演者が1人で喋りすぎであった。声のトーンが高いこともあるのだろうが、山の雰囲気にそぐわない感じのおしゃべりが少し気になった。
- ・二手に別れて別ルートから登っていくのであれば、お互いが何をしているのかは気になるところであり、もし携帯の電波が届くのであれば、電話を掛けて、途中で2人の直接の掛け合いがあればもっと盛り上がったのではないか。
- ・健康面や、またその他色々な面で、登山で（特に日帰り登山で）お酒を飲むのはどうなのか。酒呑童子にちなんだお酒のネタ自体はよかったのだが…。
- ・入浴時にお酒を飲むシーンも安全面を考えると少し気になった。
- ・紅葉の画が思ったほど美しくなかったが、この収録はどの時期に行われたのか。

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。